



長浜ロータリークラブ

国際ロータリー会長 **ロン D. パートン**

ロータリーを実践し、
みんなに豊かな人生を

RI2650地区ガバナー **坂本 克也**

あなたの善から、
みんなの善へ

長浜ロータリークラブ会長 **北村 隆信**

今の自分に出来ることをみつけ、
実践してみよう

開会点鐘 ▶ ロータリーソング ▶ 来客紹介 ▶ 食事・(歓談) ▶ 会務報告 ▶ 各委員会報告 ▶ 会長の時間 ▶ プログラム ▶ 閉会点鐘

第2974回
例会

2013年9月2日(月) 12:30~

「青少年育成奉仕(教育)が、
日本の未来を築く」

講師：RI第2650地区新世代委員会委員 **山田 高士氏**
担当：猪ノ口 泰壽君



「マックス君と会長がバナーの交換」

全会員が真のロータリアンになれば……

2013-14年度 国際ロータリー会長
ロン D. パートン

私たちが直面している現実の課題は、新会員をロータリーに連れてくればよいというものではないことに気づくことです。今こそ全会員が、真のロータリアンに変わる節目です。会員がロータリーに参加するのを手助けする、つまり彼らが持っている潜在能力や、ロータリーの奉仕がどれだけ多くの人生を豊かにしているかに気づかせることが課題なのです。一人ひとりの会員が活発に活動し、貢献し、世の中を良くしていることを私たちは確認する必要があります。皆さんがロータリーで意味のある活動をすれば、皆さんにとってロータリーは意味のあるものになります。

私たちがロータリーで達成できることを認識した時、すなわち、私たちがロータリーを真に実践した時、人々の人生は豊かになります。私たちが必要とする人々の人生を私たちは変えます。それは当然のことです。同じように、私たちの人生も変わります。これも必ずそうなります。これが、2013-14年度の私たちのテーマ「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」の一番大切なと

ころです。

ロータリーを通して、私たち一人ひとりの潜在能力に目を向ける時です。ロータリーは私たちをより高め、より多くのことをさせ、自分たち自身以上に大きな存在の一部にさせてくれます。私たちがどれだけロータリーに与えたかにかかわらず、それ以上の恩恵を私たちは得ます。そしてこれも必至なのです。

2013-14年度では、私たちみんなの潜在能力を引き出しましょう。これは自分次第です。ロータリーの奉仕を実践することで、参加することで、やる気を持ち続けることで、そしてロータリーの中に見いだせる贈り物を日々思い出すことで、可能となるのです。私たちは共に「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」実践します。

「マックス君が例会に」

青少年交換学生として長浜にやって来たマックス君が例会に出席しました。北村会長とバナーの交換をし、上手に日本語で氏名、年齢、出身地等を自己紹介してくれました。



過ぎし時に敬意を表して

ポール・ハリス語録

「微笑みにお金はいきりません。ですが、人生の小道を素晴らしく輝かせてくれます」

(ロータリアン誌、1915年11月号)

Smiles cost nothing, but they illuminate life's pathway wonderfully.

(The Rotarian, November 1915)

長浜ローターアクトクラブ報告

8月第二例会は、クラブ奉仕委員会担当で「BBQ例会」を宇賀野神明キャンプ場にて行いました。

屋外での例会・特別タイムとなりましたが、天気に恵まれ、自分たちで焼いた肉や野菜をおいしくいただき、楽しんで活動できました。

参加したクラブ員同士の親睦が図れた例会となりました。

隣接クラブプログラム

- 9月3日(火) / 長浜北RC
「人情 風情 侘い」
- 9月5日(木) / 彦根RC
「会員増強月間にちなんで」
- 9月6日(金) / 長浜東RC
「2650地区における社会奉仕活動」

2013~2014年度 理事・役員

会長 [理事] 北村 隆信
幹事 [理事] 永井 茂雄
会計 [理事] 藪内 猛之
前会長/S.A.A. [理事] 藤田 義嗣

会長エレクト [理事] 本城 善男
副会長 [理事] 小川 彰三
(クラブ管理運営兼任)
クラブ広報 [理事] 原馬 良典
クラブ会員増強 [理事] 大橋 紳一郎

靴プロジェクト [理事] 柴田 正明
(クラブ奉仕兼任)
ロータリー財団 [理事] 鈴木 健市
職業奉仕 [理事] 片山 喜一
社会奉仕 [理事] 上田 聡

国際奉仕 [理事] 山口 忠義
新世代奉仕 [理事] 猪ノ口 泰壽
副幹事 川村 和彦
副S.A.A. 岸本 一郎
会計監査 吉村 喜孝

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

「今から楽しい会員増強」

RI第2650地区2013-14年度 会員増強・拡大委員会
委員長 宮西正伸氏



現在、会員数は減少傾向にありますが、多くの入会者がおられることも事実で、やはりロータリーの組織や理念は素晴らしく、魅力があるからであると考えられます。この理念を後世に伝えていくことが重要であり、ロータリアンとしての責務だと思います。

長浜クラブさんは、それぞれの年齢の方がバランスよくおられ、70代以上の方も3割おられます。70代以上の方が多くおられますことは、クラブの気品を保つためにも、後輩に伝統を伝えていくためにも非常にいいことです。伝統を伝えるために、伝統を受け継ぐ側の新しい会員、この「伝統を受け継ぐ人を増やす」ということがキーワードでございまして、会員増強は大切だと思います。特に若い会員の積極的な勧誘は重要であると思われまます。

会員を増やすには、会員増強委員長だけでは限界があります。いくつかのグループに分かれて増強活動を行い、毎月進捗状況を報告し合うなど会員全員で取り組むことが必要です。現在おられない職業の方をターゲットにされるのが、最も手っ取り早く安全な方法であります。一度今おられない職業をピックアップして全員で意識されるのも方法の一つだと思います。新会員の勧誘から入会まで、また入会後のフォローなど大変気を使いますが、自分自身も成長でき、実に楽しい作業でもあります。皆様のテリトリーにもお声がけを待っておられる方がたくさんおられると思います。「伝統を受け継ぐ人を増やす」、積極的に楽しみながら会員増強に取り組みたいと思います。

長浜RCの会員の推移

クラブ会員増強委員会 委員長 大橋 紳一郎 君



会員増強について長浜RCの状況を話したいと思います。クラブ会員増強委員長とはいっても私だけで増やせるわけでもありません。年度末の会員数の推移を見ていくと面白いことが読み解けます。経済状況にそって会員数の増減が見られます。1951年に26名のチャーターメン

バーで設立され、1975年長浜東クラブが設立された年も会員を減らすことはありませんでした。1986年から1991年のバブル期には90名を超え、96名に達した年も。2008年私が幹事の年が最低でしたが、会員が会員増強に関心を持てば必ず増えます。現在長浜RCは5年未満の会員が26名、率にして43.3%です。古いメンバーはこれまでに紹介し尽していますので、現在、既に紹介していただいている方もいらっしゃいますが、若い人がその人脈で最低一人位は紹介していただきたいのです。皆さんが会員増強に関心をもっともって持っていてほしいし、退会防止もたいへん大事であると思っています。長浜クラブはこれまでも頑張っておりましたが、私としては会員増強の大切さを自覚していただくのが何より大事であると思っています。

◎前回のお客様

長浜北RC 1名

◎他クラブ例会変更

ビジター有 長浜北 9/17、高島 9/18

ビジター無 びわ湖八幡 9/19

◆出席報告

| 月日・回 | 内容 | 会員 総数 | 免除 会員 | 事前 出席 | 事後 出席 | ホーム クラブ | 出席率 |
|-----------|----|----------|----------|----------|----------|------------|--------|
| 8/5・2971 | | 65 | 9 | 5 | 1 | 48 | 93.10% |
| 8/19・2972 | | 65 | 9 | 4 | 1 | 54 | 98.33% |
| 8/26・2973 | | 65 | 9 | 2 | | 51 | 89.83% |

例会プログラム予定

●次回 9月9日

「I. M. 報告」

担当：ロータリー情報委員会

●次々回 9月16日、23日

「休 会」

・・・童心にかえろう・・・肩書をおとそう・・・年令を忘れよう・・・